

I 学校生活の心得

1. 登校と下校

- (1) 7時55分までに登校しましょう。
- (2) 交通ルールを守り、交通安全に努めましょう。
- (3) 決められた通学路を通りましょう。

2. 学校生活

- (1) 授業開始のチャイムが鳴る2分前に自分の座席につき、授業の準備をしましょう。
- (2) 放送はみんなで注意し合って静かに聞きましょう。
- (3) 登校後、校地外に出るときには先生の許可を得ましょう。
- (4) 学校のことを大切に取り扱い、汚したり傷つけたりしないようにしましょう。
- (5) 特別教室や他の教室には、無断で入らないようにしましょう。
- (6) 負傷したり病気になったりしたときは、すぐに先生に申し出ましょう。

3. 礼儀

- (1) お互いの人格を尊重し、明るい心で、礼儀正しくしましょう。
- (2) 先生や友だちに元気よくあいさつをしましょう。
- (3) 職員室などへの出入りの際には、あいさつをしましょう。
- (4) 言葉遣いは正しく、丁寧にしましょう。

4. 持ち物

- (1) 自分の持ち物には、はっきり記名しましょう。
- (2) 学習に不必要なものは持ってこないようにしましょう。
 - ・ 制汗シートは香りのないものを指定の着替え場所で使用します。
 - ・ ゴミは使用した場所のゴミ箱に捨てます。
 - ・ スプレー式は使用しません。
 - ・ 日焼け止めは無香料のものとし、家で塗布してきます。やむを得ず学校で使う場合は、トイレ、更衣室で使用します。学校ではスプレー式は使用しません。
 - ・ リップクリームは無色のものを使用します。
 - ・ ハンドクリームは無香料のものを使用します。
 - ・ バッグにつけるキーホルダーはこぶし大の大きさより小さいものを1つまでとします。
- (3) 不必要なお金は持ってこないようにしましょう。
- (4) 他人の持ち物を勝手に触らないようにしましょう。

5. 諸届

- (1) 欠席、遅刻、早退、欠課、見学等の場合は、必ず届け出ましょう。
- (2) 校舎、校具を破損したときは、先生に届け出て、後始末をしましょう。

Ⅱ 容儀・服装のきまりについて

中学生らしい、清楚で、TP0や健康・安全に配慮したもの、社会通念に照らした容儀・服装を基本とします。以下に記載のある内容は最低限のルールやマナーとしての認識のもと、記載がないものに関しても、周囲への配慮や思いやりの心を持つことを忘れず、自律した学校生活を送ります。また、特別な事情がある場合には、先生に相談します。

1. 制服

学校指定の標準のものを着用します。

・学生服

[上着] 冬季:標準学生服(富士ヨット、カンコー、バンクーバー、ハトサクラ、トンボ)
の下に標準カッターシャツ
夏季:白無地の標準カッターシャツ
(開襟シャツ・ボタンダウンは着用しません)

[学生ズボン] 標準学生ズボン
(メーカーは上記に同じ、ベルトは黒又は茶色の単色を着用します)

・セーラー服

[上着] 紺(夏季は白)の標準セーラー服の下に白無地のTシャツ
(ネクタイは紺の帯タイで、学校指定のものとします)

[スカート] 紺の標準スカート(長さはひざが隠れる程度とします)

2. 頭髪等について

- ・男子:前髪は目にかからない長さで、横髪は耳にかからない、後ろ髪は襟につかないようにします。
(髪の一部を極端に長くしたり、短くしたりしません。)
- ・女子:前髪は目にかからない長さで、横髪が前にたれないようにし、後ろ髪は肩につかないようにします。(長い場合は、ヘアピン・ゴムで髪を留める。ヘアピン・ゴムの色は黒・茶・紺で装飾のないもので耳より下の位置でくくります。)
- ・男女共通:中学生らしい髪型に心がけ、整髪料の使用、脱色、染髪、パーマ、ストレートパーマはしません。また、眉毛を細くするなど手を加えません。

3. 通学靴について

装飾品等がついていないもの、高価でないものとします。極端な厚底のものは使用しません。

[スニーカー、長靴] 白、黒、紺、茶、灰など落ち着いた色を基調としたものとします。
紐の色は、上記に準じます。

[革靴、ローファーなど] 黒、紺、茶のものとします。

[ブーツ] 白、黒、紺、茶、灰など落ち着いた色を基調としたものとします。
長さは膝より下までとします。

4. 内ズック、体育用外ズックについて

学校指定のズックを使用します。かかとに記名します。

5. くつ下について

色は白、黒、紺、グレーで、華美なデザインでないものとします。

内ズックの上端から見える長さのものを着用します。

・タイツやストッキングは黒または肌色のものを着用します。

6. 防寒具について

華美(装飾品付き等)でないもの、高価でないものとします。

身体に合ったサイズのものを使用します。

〔オーバーコート〕 色は白、黒、紺、茶、灰色などを基調としたものとします。

他に、部活動で統一されたウインドブレーカー等も可とします。

〔マフラー〕 身体に合った長すぎないものを使用します。

〔カイロ〕 貸し借りはしません。

使い終わったら必ず家に持ち帰ります。

7. 通学カバン・サブバッグについて

通学用カバンとして、学校指定のデイパックを使用します。

荷物が多い場合はサブバッグを使用してよいこととします。

・その場合、華美でないもので、バッグの口が閉じるものを使用します。

8. 肌着や防寒用衣服について

〔肌着〕 夏季：カッターシャツ、セーラー服に透けない色のものを着用します。

冬季：カッターシャツ、セーラー服からはみ出ないものを着用します。

〔防寒用衣服〕 セーター、ベスト、カーディガン、トレーナー等を制服の下に着用します。

・色は白、黒、紺、茶、灰系統の無地のものとしてします。

・セーター類を着用する場合は、上着のホックがかかるもの、襟や制服から出ないものとします。

(上着からはみ出るハイネックや、サイズの大きいものは着用しません)

9. 名札について

指定の名札を着用します。